

井の頭恩賜公園花便り

コバンソウ イネ科



ヨーロッパ原産で明治時代に観賞用として渡来し、栽培されていたものが砂地などで野生化しました。高さ30～40cmで小穂が十数個の膨らんだ小花が左右に並び、熟すと黄褐色になり、小判に見立てられたのが名前の由来で、ドライフラワーに利用されています。【小判草】花期：5～7月

アゼナルコ カヤツリクサ科



平地や河原の湿性地に生える多年草で高さは40～80cm、田んぼの畔(アゼ)に生え、小穂が鳴子のように並んで垂れ下がることが名前の由来の様です。茎上部に5～6個の小穂をつけ上部の2～4個は突端部が雄花基部が雌花、下部は雌性です。【畔鳴子】花期：5～6月



*『花便り』に関するご質問等は井の頭恩賜公園案内所TEL0422(47)6900までご連絡ください。